

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱1 高知のあゆに触れられる機会づくり)

柱No	ビジョンの柱	取り組み項目	取り組み方針	具体的な取り組み ◎優先的に取り組む項目 ◇長期的に取り組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	令和5年度				現状値(R4) ↓ 実績値(R5.9末時点) ↓ (R5:目標値)			
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期				
1	高知のあゆに触れられる機会づくり	観光	①あゆを活用した旅行商品提供のための仕組みづくり	◎宿泊・観光事業者と連携したあゆ漁(友釣り、火振り漁、しゃくり漁、投網漁等)体験の旅行商品化及び他の河川アクティビティ(SUP等)との連携による体験メニューの拡充	1	火振り漁見学のメニュー化 体験型観光の拡大を目指して、観光業界と漁協の連携を強化	※四万十市 四万十市観光協会 (遊覧船組合) 四万十川中央漁協	遊覧船等観光業界への働きかけ、調整				火振り漁見学のメニュー化 ↓ ↓ ↓ メニュー化1件			
								(実績) ・メニュー化に向け、地域ごとに検討、調整中							
								2	体験メニューの商品造成及び実施 令和4年度に造成した観光庁補助事業(サステナブルな観光コンテンツ強化モデル事業)での体験メニューの実施、新メニューの造成。	※四万十町 四万十まちおこし応援団 地域おこし協力隊	友釣り体験及び火振り漁見学メニューの実施(6月~10月上旬末)		事業の検証、改善点等の検討、来年度に向けた改良		体験メニューの実施 2件 ↓ 1件 ↓ 3件以上
											新メニューの造成に向けた検討				
								(実績)				・あゆ友釣り体験実施 2名1組(7/23)			
								3	体験メニューの商品造成を支援 ・集落活動センターなかやまによる安田川でのあゆの友掛け体験メニューの城西館「とさ恋ツアー」での商品化・実施に関するフォローアップ	※計画推進課(安芸地域本部) 集落活動センターなかやま 安田町	あゆの友掛け体験メニューのフォローアップ				あゆ関連の旅行商品数 0件 ↓ 2件 ↓ 1件
											実施主体との協議		体験メニューの実施(6/10~9/30)		
(実績) ・城西館「とさ恋ツアー」で商品化(5月~募集開始) ・モニター体験の実施(6/16 参加者3名)				・中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会による「ゆずFeSミニ」で商品化(8/22(募集人員(最小催行3名)に達せず中止)、8/30(予定))											
4	◎キャンプ場であゆ漁体験及びあゆバーベキューができる仕組みづくり	※四万十町 オートキャンプ場ウエル花夢 他町内の管理者が常駐するキャンプ場	予約制でのBBQセットへのアユ提供				体験メニューの商品化 0件 ↓ 1件 ↓ 1件以上								
			(実績)												
(実績)				・あゆ友釣り体験実施 2名1組(7/23)											
5	◎漁業体験、環境学習、文化学習を組み合わせたSDGsを学ぶ教育旅行の企画及び誘致	※四万十町 四万十まちおこし応援団 地域おこし協力隊	友釣り体験及び火振り漁見学メニューの実施(6月~10月上旬末)		事業の検証、改善点等の検討、来年度に向けた改良		体験メニューの実施 2件 ↓ 1件 ↓ 3件以上								
			新メニューの造成に向けた検討												
(実績)				・あゆ友釣り体験実施 2名1組(7/23)											
6	②旅行商品づくりのための環境整備	◎あゆ漁インストラクターや環境学習ガイダンスを担う人材の育成	あゆ漁インストラクターの育成 インストラクターの育成に向けた協議	※協議会 高知県友釣り連盟	取り組み内容について協議会委員と協議		インストラクターの派遣 ↓ 検討中 ↓ 1名以上								
					インストラクター育成の要望確認			友釣り連盟等による講師派遣の検討							
(実績) ・高知県友釣り連盟と講師派遣について協議(5月)															
7	◇駐車場や入川道等の整備	入川道の整備 ・入川道の案内看板設置や草刈等の維持管理の管轄漁協への委託 ・河川周辺の町有地や遊休地の調査	※四万十町 四万十川東部漁業協同組合 四万十川上流淡水漁業協同組合	入川道の維持管理、看板設置等				入川道の維持管理の実施 14箇所 ↓ 未集計 ↓ 20箇所							
				遊休地等調査(R3から実施中)		活用可能な土地の整備等の検討、予算計上の検討									
(実績) ・漁場管理委託契約の締結(4/1)															

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱1 高知のあゆに触れられる機会づくり)

柱No	ビジョンの柱	取り組み項目	取り組み方針	具体的な取り組み ◎優先的に取り組む項目 ◇長期的に取り組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	令和5年度				現状値(R4) ↓ 実績値(R5.9末時点) ↓ (R5:目標値)	
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		
1	高知のあゆに触れられる機会づくり	観光	②旅行商品づくりのための環境整備	◇トイレ案内マップの作成	8	トイレ設置場所の案内 ・四万十川財団の川遊びマップの活用(トイレ案内) ・仮設トイレ設置の検討	※四万十町 四万十川財団	川遊びマップの配布等によるトイレ設置場所の案内				仮設トイレの設置 検討の継続 ↓ 検討の継続 ↓ 設置の方向性の決定	
								活用可能な土地の整備等の検討、予算計上の検討					
								漁協等との調整、予算計上の検討					
				③観光博覧会を通じた「食」のPR	◎県の観光博覧会と連携したあゆを活用した自然・体験型観光商品や飲食店情報の発信	9	観光客向けの情報発信 あゆ漁体験などを含む旅行商品や体験プログラムの情報を発信	※観光政策課 高知県観光コンベンション協会	高知県観光情報サイト「こうち旅ネット」(高知県観光コンベンション協会運営)内の体験プログラム検索ページ等において、あゆ漁体験などを含む自然・体験型観光商品等を発信(4月～)				No.2～No.4及びNo.7の目標と同じ
		(実績) ・高知県観光情報サイト「こうち旅ネット」(高知県観光コンベンション協会運営)内の体験プログラム検索ページ等において、あゆ友釣り体験、火振り漁3件掲載 ・博覧会特設サイトで「あゆ王国」情報発信(バナーからのリンク)											
			食	①観光客にあゆを食べてもらおう仕組みづくり	◎都市圏などで開催される観光イベントでのあゆのPR	10	あゆを含む高知の食のPR ・あゆを含む高知の食のPRによる誘客 ・マスコミや旅行会社に向けてあゆを含む高知の食をPR	※観光政策課 高知県観光コンベンション協会	都市圏などで開催するマスコミとの情報交換会や旅行会社向け観光説明会においてあゆを含む高知の食をPR(6月頃～12月頃)				高知の食としてのPR ↓ 季節に合わせ、情報交換会等で紹介
	(実績) ・7月開催旅行会社向け情報交換会であゆについて協議												
			食	①観光客にあゆを食べてもらおう仕組みづくり	◎あゆを提供している飲食店情報のリスト化及び情報発信	11	町HPへのあゆ提供飲食店の掲載 アンケート調査による取りまとめと観光協会等を通じた情報発信	※四万十町 町内飲食店	町HPへのあゆ提供飲食店の掲載と情報更新				町HPへあゆ提供飲食店を掲載 8店舗 ↓ 11店舗 ↓ 掲載可能なあゆ提供飲食店全店舗の掲載
	(実績) ・アユ・ウナギの提供飲食店を掲載した「四万十町アユ・ウナギMAP」の作成と情報発信(7月)												
		◎あゆを提供している飲食店情報のリスト化及び情報発信			あゆフェア及びPRイベントの開催 あゆが食べられる飲食店等でのあゆフェアの開催及び日曜市に合わせたあゆPRイベントの開催	12	※水産業振興課 地産地消・外商課 観光政策課 地産外商公社 観光コンベンション協会	企画提案(プロポ) → あゆフェア参画飲食店への周知(5～6月) → あゆが食べられる県内飲食店でのあゆフェアの開催(7～9月)(プレゼントキャンペーンも併せて開催) → フェアの効果調査				あゆフェア開催店舗数 ↓ 49店舗 ↓ 50店舗	
HP等での飲食店情報の発信													
あゆPRイベントの開催に向けた調整・準備 → 日曜市に合わせたあゆPRイベント開催 → PRイベントの効果調査													
		◎宿泊施設や飲食店での個人観光客向けの利きあゆ会の実施	日曜市でのあゆの販売 県内各河川が連携し、高知市の日曜市に出店することで、県民及び県外観光客にあゆを安定的に供給できる体制を整備	13	※四万十市 四万十川西部漁協 四万十川漁業振興協議会 道の駅よつて西土佐	日曜市での販売に向けた関係者との協議・調整・実施(たびひろマーケットでの出店も検討)				日曜市でのあゆの販売 ↓ 日曜市に隣接した会場での販売 ↓ 販売の実現			
(実績) ・日曜市に合わせて西敷地で開催された、こうち天然あゆまつりにて、四万十川西部漁協がアユの塩焼きを販売(8/27)													

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱1 高知のあゆに触れられる機会づくり)

柱No	ビジョンの柱	取り組み項目	取り組み方針	具体的な取り組み ◎優先的に取り組む項目 ◇長期的に取り組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	令和5年度				現状値(R4) ↓ 実績値(R5.9末時点) ↓ (R5:目標値)			
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期				
1	高知のあゆに触れられる機会づくり	食	①観光客にあゆを食べてもらおう仕組みづくり	◎宿泊施設や飲食店での個人観光客向けの利きあゆ会の実施	14	利き鮎会及び食味会の開催 四万十川の各地(本流、目黒川、黒尊川、藤ノ川、大正芳川等)でとれる鮎を比べ、味の違いの体感や、美味しさを競い合う	※四万十市 四万十川漁連 四万十川西部漁協 道の駅よって西土佐	開催に向けた調整		利き鮎会開催(10月中)			食味会及び利き鮎会の開催 2回開催 ↓ 2回開催予定 ↓ 1回開催		
				◎キャンプ場やアクティビティ施設等と連携した観光客へのあゆの提供	15	観光等複合拠点へのあゆの提供 モンベルアウトドアビレッジ本山のハーベストテラスのバーベキューの食材としてあゆを提供	※嶺北漁協	ハーベストテラスでのあゆの提供	出荷準備(解禁日まで)	あゆの出荷供(6月~10月)	来年度のあゆの漁獲にかかる電源会社との協議			アユの出荷数 100匹 ↓ 40匹 ↓ 200匹	
					16	あゆ及び加工品の販売 道の駅で常時天然あゆの塩焼きを提供するとともに、バーベキューの食材として地域内のアクティビティ施設と連携してあゆ及び加工品を提供	※四万十市 四万十川西部漁協 道の駅よって西土佐	道の駅での焼きアユ販売							新商品の開発件数 1件 ↓ 0件 ↓ 1件
					17	キャンプ場でのあゆの提供 町内のキャンプ場で予約制であゆの提供の実施	※四万十町 町内飲食店	あゆ提供の情報発信と提供場所の追加に向けた協力依頼等の実施							あゆの提供数 0件 ↓ 1件 ↓ 10件
					18	能津地区来訪者への高知県産鮎料理の提供 仁淀川屋形船が漁獲した鮎を能津集落活動センターミライエが能津地区を訪れた観光客へ提供する	※能津集落活動センター ミライエ 屋形船仁淀川	鮎の新メニュー開発(~5月)	開発した鮎料理の販売(鮎の在庫が無くなり次第終了)					鮎の新メニュー開発(1月~)	鮎料理提供数 250食 ↓ 18食 ↓ 250食
	19	◇県内飲食店でのPRイベント等による誘客	販売イベントの開催 町出身シェフの協力によるイベント開催(米こめフェスタ等でのアユメニュー提供)	※四万十町 町内飲食店	イベントの開催に向けた調整	あゆを用いた食の販売イベントの開催	あゆを用いた食の販売イベントの開催				イベントの開催回数 3回 ↓ 未実施 ↓ 3回以上				

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱1 高知のあゆに触れられる機会づくり)

柱No	ビジョンの柱	取り組み項目	取り組み方針	具体的な取り組み ◎優先的に取り組む項目 ◇長期的に取り組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	令和5年度				現状値(R4) ↓ 実績値(R5.9末時点) ↓ (R5:目標値)			
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期				
1	高知のあゆに触れられる機会づくり	食	②県外の飲食店で高知のあゆを食べてもらう仕組みづくり	◎「高知家の魚応援の店」を活用した高知のあゆの販売促進	20	県外での販売促進 町地産外商室を通じた県外でのあゆの販売流通促進	※四万十町	町地産外商室による販売促進活動				販売促進の取組の実施 ↓ バイヤーの招へいの実施 ↓ 未実施 ↓ バイヤーの招へいの実施			
								(実績)							
								21	「高知家の魚応援の店」への外販活動 全国の「応援の店」に対して、きめ細やかな営業活動やオンラインを活用した商談機会の提供を通じて、あゆの販路開拓・販売拡大を実施	※水産産業振興課 地産外商公社	「高知家の魚応援の店」への営業活動の実施				あゆを扱う県内参画事業者の商談会等への参加 ↓ 5回 ↓ 0回 ↓ 5回
											県内参画事業者の情報収集				
											産地見学会(2回・36店舗)・産地招へい(10社)の実施 県産水産物試食商談会の実施				
								(実績) ・「高知家の魚応援の店」への営業活動の実施				・参画事業者の情報収集(8/29)			
								22	四万十川のあゆの販売拡大 ・「高知家の魚応援の店」と連携した天然あゆの提供 ・豊洲市場への活あゆ等の直送	※四万十市 四万十川西部漁協 道の駅よつて西土佐	実店舗での天然アユ提供				豊洲市場へのあゆ出荷量 ↓ 130.7kg ↓ 307.7kg ↓ R4同程度の量を出荷
											豊洲市場への活アユ等出荷				
								(実績) ・豊洲市場に活あゆ等を173.5kg直送(6月) ・「土佐料理 司」で夏のお中元ギフトセットとして天然鮎塩焼き(冷凍)を販売(6~7月の2ヶ月で50~60匹を3~4回発送)				・豊洲市場に活あゆ等を134.2kg直送(7月)			
								23	◎「まるごと高知」を活用した高知のあゆのプロモーション活動の展開	◎「まるごと高知」を活用した高知のあゆのプロモーション活動の展開	あゆのプロモーション ・年間を通じた情報発信(5、10、1月) ・2階レストランでメディア等を集めたあゆと土佐酒の試食会を開催、情報拡散を図る(7月)	※地産地消・外商課 地産外商公社 水産産業振興課	あゆの解禁にあわせてメディアを集めた試食会(あゆのフルコース提供)開催(6月)@高知と連携		
利きあゆ大会に向けた情報発信(7、8月)															
あゆの加工品PR(1月)															
(実績) ・メディアに対して、あゆのフルコースを提供(6/2) ・6社7名が参加し、共同通信社、旅行読売(Yahoo転載)等へ記事掲載				・清流めぐり利き鮎会を取材(9/15)し、記事配信予定											
24	あゆフェアの開催 ①レストランであゆと土佐酒の提供 ②物販であゆ関連商品の販売 ①②を合わせて「高知あゆフェア」と題して2週間程度開催する	※地産地消・外商課 地産外商公社 水産産業振興課	企画立案・調整				店舗プロモーション活動 0回 ↓ 1回								
			①レストランであゆのフルコース提供 ②あゆフェア(加工品)												
(実績)				・飲食において、ディナーコースに県産天然あゆ(奈半利川)を採用(8月以降) ・物販において、鮎のコンフィ等加工品の販売											
25	◎県内イベントでのあゆのPR及び提供	◎県内イベントでのあゆのPR及び提供	各種イベント等でのあゆの塩焼きの販売 西土佐ふるさと祭りをはじめとする県内の各種イベントに出店しあゆの塩焼きを販売	※四万十市 四万十川西部漁協 道の駅よつて西土佐	各種イベント等での天然アユ販売				イベントへの出店回数 8回 ↓ 3回実施(以降5回予定) ↓ 10回						
					(実績) ・あゆフェス(6/11)(四万十市) ・こうち天然あゆまつり(8/27)(高知市) ・北の恵み食べマルシェ(9/16~18)(旭川市)										

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱1 高知のあゆに触れられる機会づくり)

柱No	ビジョンの柱	取り組み項目	取り組み方針	具体的な取り組み ◎優先的に取り組む項目 ◇長期的に取り組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	令和5年度				現状値(R4) ↓ 実績値(R5.9末時点) ↓ (R5:目標値)
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
1	高知のあゆに触れられる機会づくり	食	③高知県民があゆを食べる機会づくり	◎県内イベントでのあゆのPR及び提供	26	漁協によるイベントへの出展 四万十川上流淡水漁協によるイベント出店	※四万十町 四万十川上流淡水漁業協同組合	高知市中央公園等で行われる食のイベントへの出展(豊穰祭、ふるさとまつり、土佐のおきゃく等)				イベント参加回数 5回 ↓ 1回 ↓ 3回以上
						(実績)	・こうち天然あゆまつり出展(8/27)	豊穰祭、ふるさとまつり	土佐のおきゃく			
						あゆフェア及びPRイベントの開催 あゆが食べられる飲食店等でのあゆフェアの開催及び日曜市に合わせたあゆPRイベントの開催(再掲)	※水産業振興課 地産地消・外商課 観光政策課 地産外商公社 観光コンベンション協会	企画提案(プロボ) → あゆフェア参画飲食店への周知(5~6月) → あゆが食べられる県内飲食店でのあゆフェアの開催(7~9月)(プレゼントキャンペーンも併せて開催) → フェアの効果調査	HP等での飲食店情報の発信	あゆPRイベントの開催に向けた調整・準備 → 日曜市に合わせたあゆPRイベント開催 → PRイベントの効果調査	あゆフェア開催店舗数 ↓ 50店舗以上	
						(実績) ・あゆフェア及びあゆPRイベントに向けた委託先との協議(随時)	・こうち天然あゆフェアの開催(7/1~9/30)、県内49店舗の飲食店が参加(8月末現在) ・こうち天然あゆまつり開催(8/27)、約4,300人が来場し、あゆの塩焼き等約1,500尾分(うち200尾分はつかみ取り)が完売。					
			◎食育授業でのあゆの活用	28	学校給食へアユ提供 四万十町内の小中学校・高校の給食へのあゆの提供	※四万十町 町内小・中学校、高校 給食センター	町内小中学校・高校の給食へのあゆ提供				給食でのあゆの活用 1回以上 ↓ 1回(予定) ↓ 1回以上	
					(実績)	・町内の小中学校・高校の給食へのあゆの提供に向けた調整(9月予定)						
					食育授業でのあゆの提供 食育授業の食材にあゆを活用し、県内小学校等の児童及び保護者に対して、関心喚起につながる学習と調理実習・試食を実施	※水産業振興課 学校給食会 漁協	学校給食会との協議(4月) → 小学校等での食育授業の実施(6月~12月)	漁協等への食材購入に係る協力依頼	(実績) ・年間計画について学校給食会と協議	食育授業でのあゆの活用 5回(生徒:169名) ↓ 2回(予定) ↓ 1回以上		
			④調理方法や食べ方の提案によるあゆの利用促進	◎宿泊施設や飲食店での塩焼き以外の多彩なメニュー(あゆ寿司、あゆ飯、一日干し、落ちあゆの塩煮等)のPR及び提供	30	宿泊施設や飲食店でのあゆメニュー開発・提供 ホテル奈半利をはじめとする宿泊施設や飲食店において、あゆを活用したメニューの提供を開始	※奈半利川淡水漁協 ホテル奈半利	あゆの提供について協議 → あゆ料理の提供開始 → 来年度に向けた改善の検討	新たな出荷先の開拓	宿泊施設等へのあゆの提供尾数 850匹 ↓ 150匹 ↓ 850匹		
						(実績) ・ホテル奈半利へあゆの提供開始	・8月末時点でのあゆの提供数は150匹					

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱1 高知のあゆに触れられる機会づくり)

柱No	ビジョンの柱	取り組み項目	取り組み方針	具体的な取り組み ◎優先的に取り組む項目 ◇長期的に取り組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	令和5年度				現状値(R4) ↓ 実績値(R5.9末時点) ↓ (R5:目標値)	
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		
1	高知のあゆに触れられる機会づくり	食	④調理方法や食べ方の提案によるあゆの利用促進	◎宿泊施設や飲食店での塩焼き以外の多彩なメニュー(あゆ寿司、あゆ飯、一日干し、落ちあゆの塩煮等)のPR及び提供	31	宿泊施設や飲食店でのあゆメニュー開発・提供 馬路温泉をはじめとする宿泊施設や飲食店において、あゆを活用したプランやメニューを開発し、利用客に提供	※馬路村(一社)馬路温泉運営協会	開発したプラン・メニューの提供	開発したプラン・メニューの提供	開発したプラン・メニューの提供	開発したプラン・メニューの提供	開発したプラン・メニューの提供	馬路温泉あゆ活用プランの宿泊者数(アユフルコース) 112名 ↓ 未集計 ↓ 150名
								プラン・メニューについて協議	利用者の意見等を取り入れながら、プラン・メニューの改善	シーズンの振り返りと来期に向けての改善			
								(実績) ・宿泊プランにあゆフルコースプラン、あゆの塩焼きの提供を開始(6/15~) ・宿泊者以外にも提供できるようレストランメニューにて提供開始(6/15~ 鮎の塩焼き、鮎の干物) ・多くの方に認知してもらおう温泉SNSにて情報発信(インスタグラム 6/28)	・第1四半期で実施した内容を継続 ・あゆフルコースプランは10月15日まで実施予定 ・村担当課SNSでもあゆフルコースプランなどの情報を発信(インスタグラム 8/3)				
								新メニューの開発に向けた調整	新メニュー提供	新メニュー提供			
								(実績) ・実施に向け、検討中	・実施に向け、検討中				
		◇協力店舗による和洋中を問わない新たな料理の開発	あゆづくしランチでの新メニューの提供 アユづくしランチなどでの塩焼き以外のメニューでの提供の実施	※四万十町委託事業者町内飲食店	新メニューの開発に向けた調整	新メニュー提供	新メニュー提供			新メニューの提供品数 1回 ↓ 未実施 ↓ 2種類以上			
					(実績) ・実施に向け、検討中	・実施に向け、検討中							
					新メニューの開発に向けた調整	新メニュー提供	新メニュー提供						
					(実績) ・実施に向け、検討中	・実施に向け、検討中							
釣り	①子どもたちがあゆに親しむことができる環境づくり	◎子ども向け釣り教室等の開催	子供が楽しめる体験メニューの提供 あゆつかみ取り体験、投げ網体験等、子供が楽しみながらあゆに親しめる体験メニューの提供	34	※四万十市四万十川西部漁協 四万十川中央漁協 四万十川漁業振興協議会	季節に応じて、つかみ取り体験、投げ網体験を実施	季節に応じて、つかみ取り体験、投げ網体験を実施	季節に応じて、つかみ取り体験、投げ網体験を実施	季節に応じて、つかみ取り体験、投げ網体験を実施	季節に応じて、つかみ取り体験、投げ網体験を実施	季節に応じて、つかみ取り体験、投げ網体験を実施	体験メニューの商品化 ↓ ↓ ↓ 1件	
						(実績) ・稚アユ放流体験(5/1、5/10、5/18)	・しゃくり漁体験(7/11) ・投網漁体験(7/13) ・親子川漁体験(7/29) ・つかみ取り体験(9/6) ・各種メニューの商品化に向けて調整中						
						幼稚園単位での開催に向けた調整	あゆのつかみ取り体験の開催(3~4回程度)						
						(実績) ・漁協傍の河原でつかみ取り開催(7/30: 田野町、奈半利町、北川村の小中学生130名) ・奈半利幼稚園でつかみ取り開催(8/4: 42名) ・田野幼稚園でつかみ取り開催(8/21:70名)							
		◎幼稚園等でのあゆのつかみ取り体験等の実施	あゆのつかみ取りの実施 幼稚園児等を対象としたあゆのつかみ取りの実施	35	※奈半利川淡水漁協	幼稚園単位での開催に向けた調整	あゆのつかみ取り体験の開催(3~4回程度)					参加児童数 2回180名 ↓ 3回242名 ↓ 3回200名	
						(実績) ・漁協傍の河原でつかみ取り開催(7/30: 田野町、奈半利町、北川村の小中学生130名) ・奈半利幼稚園でつかみ取り開催(8/4: 42名) ・田野幼稚園でつかみ取り開催(8/21:70名)							
			あゆのつかみ取りの実施 あゆまつりでのあゆのつかみ取り(小学生以下)の実施	36	※四万十町アユまつり実行委員会	あゆまつりの開催に向けた調整・協議	あゆまつり開催					つかみ取り実施回数 0回(イベント中止) ↓ 1回 ↓ 年1回の開催	
						(実績) ・あゆまつりにてつかみ取りを実施(8/20)							

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱1 高知のあゆに触れられる機会づくり)

柱No	ビジョンの柱	取り組み項目	取り組み方針	具体的な取り組み ◎優先的に取り組む項目 ◇長期的に取り組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	令和5年度				現状値(R4) ↓ 実績値(R5.9末時点) ↓ (R5:目標値)
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
1	高知のあゆに触れられる機会づくり	釣り	①子どもたちがあゆに親しむことができる環境づくり	◎友釣り体験等の実施	37	友釣り体験等の実施 友釣り体験、四万十川友釣りイベント等に向けた調整・実施	※四万十町 友釣り連盟 日本釣振興会高知県支部 高知県釣具商組合 四万十川漁業協同組合連 合会、四万十川上流淡水 漁業協同組合 他	開催に向けた調整	友釣り体験の実施(8回)	次年度の開催に向けた検討		友釣り大会の開催回数 0回(イベント中止) ↓ 3回 ↓ 8回開催
								(実績) ・友釣り体験実施(6/25)	・友釣り体験実施(7/9) ・友釣り体験実施(7/23)			
		②県内遊漁者の増加に向けた仕組みづくり	◎あゆ漁インストラクターの育成	38	あゆ漁インストラクターの育成 インストラクターの育成に向けた協議(再掲)	※協議会 高知県友釣り連盟	取り組み内容について協議会委員と協議	友釣り連盟等による講師派遣の検討				インストラクターの派遣 ↓ 検討中 ↓ 1名以上
							インストラクター育成の要望確認	(実績) ・インストラクターの育成に向け、高知県友釣り連盟による講師派遣の可能性について協議(5月)				
		◎若い世代(特に女性)をターゲットとした簡易な服装や道具で友釣りができるライトスタイルの提案及び広報	◎若い世代(特に女性)をターゲットとした簡易な服装や道具で友釣りができるライトスタイルの提案及び広報	39	ライトスタイルの提案及び広報 釣具屋、関係団体と連携したライトスタイルの提案及び広報(要調整)	※協議会	協議会委員や関係団体等との取り組み内容の協議	関係団体等と連携したSNSでの情報発信				(今後設定)
							(実績) ・高知県友釣り連盟からライトスタイルの提案について助言(5月)	・物部川で漁協と県内釣具店、釣り具メーカーが、共同であゆのルアー釣り(アユイング)講習会を開催(7月) ・釣り具メーカーがこうち天然あゆまつりにおいて、あゆのルアー釣りをPR				
		◎祖父世代から孫世代への釣り文化や釣り道具の継承に向けたイベントの開催	◎祖父世代から孫世代への釣り文化や釣り道具の継承に向けたイベントの開催	40	釣り道具の継承 釣り文化や釣り道具の継承に向けた検討	※協議会	協議会委員や関係団体等との取り組み内容の協議	イベント等の実施				(今後設定)
							(実績)	・こうち天然あゆまつりにて、出展した県内釣具店において、あゆ釣り文化に関する展示・販売が行われた(8/27)				
		◇あゆ釣り師養成講座の開講	◇あゆ釣り師養成講座の開講	41	友釣り体験等での講師依頼 友釣り体験、四万十川友釣りイベント等での講師依頼	※四万十町 友釣り連盟 日本釣振興会高知県支部 高知県釣具商組合 四万十川漁業協同組合連 合会、四万十川上流淡水 漁業協同組合 他	開催に向けた調整	友釣り教室開催(漁期期間中)	次年度の開催に向けた検討		友釣り教室の開催回数 0回(イベント中止) ↓ 3回 ↓ 8回開催	
							(実績) ・友釣り体験講師依頼 4名(6/25)	・友釣り体験講師依頼 4名(7/9) ・友釣り体験講師依頼 4名(7/23)				
川漁体験の実施 四万十川財団が開催する川漁大人塾への協力	川漁体験の実施 四万十川財団が開催する川漁大人塾への協力	42	川漁体験の実施 四万十川財団が開催する川漁大人塾への協力	※四万十町 四万十川財団	川漁体験としての大人塾開催への協力(うなぎ漁)	川漁体験としての大人塾開催への協力(あゆ漁8、9、10月)	結果の検証		あゆに関する大人塾開催回数 7回 ↓ 4回 ↓ 6回			
					(実績) ・川漁大人塾の開催(4/29・30、5/20・21)	・川漁大人塾の開催(7/29、8/19・27)						
◇関係機関と漁協が連携した各河川のあゆに関する情報発信	◇関係機関と漁協が連携した各河川のあゆに関する情報発信	43	四万十川で釣った鮎の大きさを競う大会を開催	※四万十市 西土佐商工会青年部 四万十川西部漁協	開催に向けた調整	大会開催(8/1~10/15)			大会の開催 第1回開催 ↓ 第2回開催 ↓ 第2回開催			
					(実績)	・8/1~10/15開催						

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱1 高知のあゆに触れられる機会づくり)

柱No	ビジョンの柱	取り組み項目	取り組み方針	具体的な取り組み ◎優先的に取り組む項目 ◇長期的に取り組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	令和5年度				現状値(R4) ↓ 実績値(R5.9末時点) ↓ (R5:目標値)
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
1	高知のあゆに触れられる機会づくり	釣り	③県外遊漁者の増加に向けた仕組みづくり	◎電子遊漁券の導入拡大や共通遊漁券の設定	44	漁協による電子遊漁券の導入支援 電子遊漁券の導入の検討(四万十川上流淡水漁協)	※四万十町 四万十川上流淡水漁業協同組合	電子遊漁券の導入の検討 導入のための支援制度の紹介 (実績) ・電子遊漁券導入の選定通知(7/31)				電子遊漁券の導入未定 ↓ 導入の意思決定 ↓ 導入の意思決定
				◎キャンプ場であゆ釣り体験及びあゆバーベキューが出来る仕組みづくり(再掲)	45	キャンプ場でのあゆの提供 ・オートキャンプ場ウエル花夢で予約制であゆの提供の実施	※四万十町 オートキャンプ場ウエル花夢 他町内の管理者が常駐するキャンプ場	予約制でのBBQセットへのアユ提供 (実績) ・ウエル花夢でのアユの提供開始(6月~) ・あゆ友釣り体験実施 2名1組(7/23)時に提供				あゆの提供回数 0回 ↓ 1回 ↓ 3回以上
				◇関係機関と漁協が連携した各河川のあゆに関する情報発信	46	関係人口の創出と情報発信 鏡川流域関係人口創出・拡大業務において、鏡川流域関係人口講座を開催し、鏡川流域の自然を生かした多様な関わり方を実行できる人材を育成するとともに、受講生のコミュニティを構築する。講座の中で、受講生の取材先として漁協を設定することで、漁協の取組(あゆに関する取組等)の周知を図る。また、鏡川のプロモーション活動を実施することで、あゆに関する情報を発信する。	※高知市	契約準備、契約(4月~6月) 事業告知、受講生募集等(7月) 第1回~4回講座(7月~2月) 業務報告等(3月) (実績) ・プロポーザル審査会を開催し、委託事業を選定(6/16) ・委託契約の締結(6/30) ・講座の概要、講師、スケジュール等について委託業者と協議(7~8月) ・講座内容の決定、告知の実施(8月) ・講座の開催(9月)	関係人口(鏡川流域の自然資本を含む地域資源に人が関わる回数) 2,103回 ↓ 1,700回 ↓ 4,000回			
				電子地域ポイントを活用した情報発信	47	電子地域ポイントを活用した情報発信 鏡川流域関係人口ネットワークインフラ(電子地域ポイント)提供業務において、電子地域ポイントシステム(まちのコイン「ほっちり」)を活用して、鏡川に関する体験の創出、鏡川に対する多様な人材の関わりを促進等に取り組む。漁協をスポット登録し、漁協に関する体験チケットを発行することで、漁協の取組(あゆに関する取組等)の周知を図る。 ※高知市は「まちのコイン」の運営団体	※高知市	コインの配布、回収、スポット申請の承認、スポット及びビューザーの開拓等(通年) (実績) ・電子地域ポイントシステム(まちのコイン「ほっちり」)のスポットである鏡川漁協が、漁協主催のイベントにおいて体験チケットの作成・発行等を行い、取組のPRや関係人口創出に活用している。(7~8月)	関係人口(鏡川流域の自然資本を含む地域資源に人が関わる回数) 2,103回 ↓ 1,700回 ↓ 4,000回			
				流域関係者で組織する協議会を活用した情報発信	48	流域関係者で組織する協議会を活用した情報発信 流域漁協、行政での協議組織(漁業振興協議会)を活用した各調査結果等の情報発信	※四万十町 四万十川漁業振興協議会 四万十川東部漁業協同組合	四万十川漁業振興協議会を活用した情報発信 四万十川東部漁協HPによるあゆ釣果情報等の発信 (実績) ・四万十川東部漁協HPによるあゆ釣果情報等の定期的な発信(6月~)	情報発信の実施 町HPでの情報発信 ↓ 東部漁協HPでの情報発信 ↓ 町HPでの情報発信の実施			
1	高知のあゆに触れられる機会づくり	釣り	③県外遊漁者の増加に向けた仕組みづくり	あゆ釣り全国大会の誘致	49	あゆ釣り全国大会の誘致 ・高知県友釣り連盟と連携した釣り具メーカー主催のあゆ釣り全国大会の誘致	※仁淀川漁協 高知県友釣り連盟 水産業振興課 高知市 土佐市の町 日高村 佐川町 越知町 仁淀川町	全国大会西日本ブロック大会に向けた準備 全国大会西日本ブロック大会開催(仁淀川:7/22) 全国大会(岐阜県)視察(8/25~27) 関係者への情報共有 全国大会招致に向けたメーカーとの調整(本会場や宿泊先など) (実績) ・西日本ブロック大会において、関係機関(観光政策課、仁淀ブルー観光協議会及びいの町観光協会)との協力の上で、あゆ王国高知及び仁淀川流域市町村等をPR ・仁淀川にて西日本ブロック大会が開催され、参加選手26名中2名が決勝大会進出。 ・岐阜県長良川で開催された全国決勝大会視察(8/25-27)。令和6年度の決勝大会は仁淀川で開催されることが正式発表(8/27)	全国大会の誘致 ↓ 西日本ブロック大会開催 ↓ 1大会全国大会 西日本ブロック大会開催			

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱1 高知のあゆに触れられる機会づくり)

柱No	ビジョンの柱	取り組み項目	取り組み方針	具体的な取り組み ◎優先的に取り組む項目 ◇長期的に取り組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	令和5年度				現状値(R4) ↓ 実績値(R5.9末時点) ↓ (R5:目標値)
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
1	高知のあゆに触れられる機会づくり	情報発信	①SNSやイベントを活用した情報発信	◎「高知家の魚応援の店」を活用した高知のあゆの発信及び提供	50	「高知家の魚応援の店」での高知フェアの開催 全国350店舗の「応援の店」での高知フェアでのメニュー提供や情報発信を実施	※水産業振興課 地産外商公社	県内参画事業者の情報収集	フェア参加店舗の募集、 フェアメニューの開発・決定	高知フェア(全国350店舗)の開催(9~2月)		フェアであゆを提供する 飲食店数 1店舗 ↓ 3店舗
								(実績)	・フェア参加店舗の募集開始(9/30)			
					51	県産あゆの効果的な情報発信 あゆが食べられる飲食店等の情報収集・発信やインフルエンサーと連携したSNSでの県産あゆの情報発信等を実施(再掲)	※水産業振興課 地産地消・外商課 観光政策課 地産外商公社 観光コンベンション協会	あゆが食べられる飲食店等情報のHP等での情報発信				SNS・HPでの記事・動画 閲覧数 70万件以上 ↓ 約27万件 ↓ 70万件以上
								企画提案(プロポ)	県SNS及びインフルエンサーによるSNSでの情報発信(6~10月)			
									インフルエンサーによるTVでの情報発信(放送日未定)			
								作業部会(情報発信関連)の開催による効果的な情報発信の検討、実施				
					(実績)	・あゆフェア及びあゆPRイベントに向けた委託先との協議(随時) ・まるごと高知で、関東のメディア向けPRイベントを開催(6/2)。メディア17媒体で記事掲載	・こうち天然あゆフェア開催(7/1~9/30)、県内49店舗の飲食店が参加(8月末現在) ・大阪市内の飲食店で、関西のメディア向けPRイベントを開催(7/14)。メディア4媒体で記事掲載 ・こうち天然あゆまつり開催(8/27)、約4,300人が来場し、あゆの塩焼き1,000食以上が完売。					
					52	「高知家の魚応援の店」での高知フェアの開催 全国350店舗の「応援の店」での高知フェアでのメニュー提供や情報発信を実施(再掲)	※水産業振興課 地産外商公社	県内参画事業者の情報収集	フェア参加店舗の募集、 フェアメニューの開発・決定	高知フェア(全国350店舗)の開催(9~2月)	フェアであゆを提供する 飲食店数 1店舗 ↓ 3店舗	
								(実績)	・フェア参加店舗の募集開始(9/30)			
					53	SNSやHPを活用した定期的な情報発信 村のInstagram、ホームページを活用し、あゆに関する情報を定期的に発信	※馬路村	漁期前の川の状	あゆ漁の風景を撮影(写真・動画) あゆ漁の写真及び動画を	あゆに関する情報(料理、レストラン、漁期等)を	Instagramを活用したあゆに関する情報発信数 3回 ↓ 6回(予定) ↓ 10回以上	
								(実績)	・馬路村観光HPにて「安田川定点画像」を毎日発信 ・村担当課InstagramやFacebookで情報発信(インスタ投稿:7/7、7/27、8/3)			
					54	内水面漁業に関する研修会の開催 2年に1回、内水面関係に造詣の深い大学等の研究者を招へいし、講演会を実施。	※水産業振興課 内水面漁業センター 漁協 市町村 県			研修会に向けた準備	研修会の開催	研修会の開催(隔年開催) 0回 ↓ 1回
(実績)	・1月開催予定とし、調整中											

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱1 高知のあゆに触れられる機会づくり)

柱No	ビジョンの柱	取り組み項目	取り組み方針	具体的な取り組み ◎優先的に取り組む項目 ◇長期的に取り組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	令和5年度				現状値(R4) ↓ 実績値(R5.9末時点) ↓ (R5:目標値)		
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期			
1	高知のあゆに触れられる機会づくり	情報発信	①SNSやイベントを活用した情報発信	◎あゆに関する情報の定期的な発信やシンポジウムの開催 ◇関係機関と漁協が連携した各河川のあゆに関する情報発信(再掲)	55	清流めぐり利き鮎会を活用した情報発信 全国の河川のアユを集め、食べ比べによる審査を行い、その年のグランプリを選出・表彰する。オープニングであゆ王国の取組をPRする。	※高知県友釣連盟 水産振興課	エントリー河川の募集・参加調整(4,5月)	開催要項の発送(6月)	一般募集案内(7月)	一般募集開始(8月)	・9月15日(金)開催 ・あゆ王国の取組をPR	エントリー先への礼状、表彰状等の発送	来場者数 110名 ↓ 260名(予定) ↓ 200名以上
						(実績) ・第24回清流めぐり利き鮎会における「あゆ王国こうち」のPRについて協議	・第24回清流めぐり利き鮎会のオープニングにおいて「あゆ王国こうち」のPR動画を放映予定(9/15) ・利き鮎会ではブースを設置し、のぼり、ポスターの掲示やチラシの配布による、「あゆ王国高知」のPRを実施(予定)							
						関係人口の創出と情報発信 鏡川流域関係人口創出・拡大業務において、鏡川流域関係人口講座を開催し、鏡川流域の自然を生かした多様な関わり方を実行できる人材を育成するとともに、受講生のコミュニティを構築する。講座の中で、受講生の取材先として漁協を設定することで、漁協の取組(あゆに関する取組等)の周知を図る。また、鏡川のプロモーション活動を実施することで、あゆに関する情報を発信する。(再掲)	※高知市	契約準備、契約(4月～6月)	事業告知、受講生募集等(7月)	第1回～4回講座(7月～2月)	業務報告等(3月)	関係人口(鏡川流域の自然資本を含む地域資源に人が関わる回数) 2,103回 ↓ 1,700回 ↓ 4,000回		
						(実績) ・プロポーザル審査会を開催し、委託事業を選定(6/16) ・委託契約の締結(6/30)	・講座の概要、講師、スケジュール等について委託業者と協議(7～8月) ・講座内容の決定、告知の実施(8月) ・講座の開催(9月)							
						電子地域ポイントを活用した情報発信 鏡川流域関係人口ネットワークインフラ(電子地域ポイント)提供業務において、電子地域ポイントシステム(まちのコイン「ぼっちり」)を活用して、鏡川に関する体験の創出、鏡川に対する多様な人材の関わりを促進等に取り組む。漁協をスポット登録し、漁協に関する体験チケットを発行することで、漁協の取組(あゆに関する取組等)の周知を図る。(再掲) ※高知市は「まちのコイン」の運営団体	※高知市	コインの配布、回収、スポット申請の承認、スポット及びユーザーの開拓等(通年)				業務報告等	関係人口(鏡川流域の自然資本を含む地域資源に人が関わる回数) 2,103回 ↓ 1,700回 ↓ 4,000回	
(実績)	(実績) ・電子地域ポイントシステム(まちのコイン「ぼっちり」)のスポットである鏡川漁協が、漁協主催のイベントにおいて体験チケットの作成・発行等を行い、取組のPRや関係人口創出に活用している。(7～8月)													
58	流域関係者で組織する協議会を活用した情報発信 流域漁協、行政での協議組織(漁業振興協議会)を活用した各調査結果等の情報発信(再掲)	※四万十町 四万十川漁業振興協議会 四万十川東部漁業協同組合	四万十川漁業振興協議会を活用した情報発信				情報発信の実施 町HPでの情報発信 ↓ 東部漁協HPでの情報発信 ↓ 町HPでの情報発信の実施							
			東部漁協HPによるあゆ釣果情報等の発信											
(実績)	・四万十川東部漁協HPによるあゆ釣果情報等の定期的な発信(6月～)													
59	【新規】あゆに関する情報発信 ホームページやリーフレット等を作成し、県内外にあゆに関する情報発信を行う	※四万十市 西土佐商工会 四万十川西部漁協 株式会社西土佐ふるさと市 西土佐地域産業振興推進協議会	あゆを提供している飲食店の情報収集				PR活動 ↓ ↓ ↓ ホームページ等作成							
			ホームページ、リーフレット、のぼり旗等作成											
BBQ食材としてのあゆのPR活動、学校給食を通じたあゆのPR活動				あゆの食べ方や食文化の調査										
(実績)														

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱2 高知のあゆで外貨を稼ぐ仕組みづくり)

柱No	ビジョンの柱	取り組み項目	取り組み方針	具体的な取り組み ◎優先的に取り組む項目 ◇長期的に取り組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	令和5年度				現状値(R4) ↓ 実績値(R5.9末時点) ↓ (R5:目標値)
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
2	高知のあゆで外貨を稼ぐ仕組みづくり	加工・流通販売	①県内各河川のあゆを一元的、安定的に供給するための流通体制の構築	◇集出荷システム及び冷凍加工体制の構築	1	集出荷体制の構築及び冷凍試験の実施 安定的な販売と魅力的な商品づくりに向けて複数河川のあゆを集出荷できる体制の構築を及び冷凍試験の実施	※協議会	作業部会における前年度の取り組みの検証と冷凍あゆの集出荷販売の実施				商談会への出展 0回 ↓ 1回 ↓ 2回
								冷凍試験内容の協議	冷凍試験の実施	商談会への出展(8月)	商談会への出展(2月)	
					(実績) ・県産あゆの輸出に向けた国内商社との協議(5/10)	・流通販売部会の開催(7/24) ・県産あゆの輸出に向けた国内商社の産地視察(7/26) ・第25回インターナショナルシーフードショーにおいて冷凍鮎を出展(8/23-25) ・冷凍試験の実施(9月中予定)						
			◇県内の商品を扱う地域商社などとの連携	2	県外での販売促進 ・地域商社と連携したあゆの販売促進活動の実施(再掲)	※四万十町	地域商社と連携したイベントや商談会への参加				地域商社と連携した商談による成約件数 0件 ↓ 未集計 ↓ 1件以上	
					(実績) ・商談会への参加(4/24、5/24) ・漁協を通じた、町内の事業者におけるアユ取扱量 7.8kg()	・商談会への参加(6/20,7/20) ・漁協を通じた、町内の事業者におけるアユ取扱量 12.0kg(7~8月)						
			②高知県のあゆのブランド化と県外へのPR及び販売	◎「高知家の魚応援の店」を活用した高知のあゆの発信及び提供(再掲)	3	「高知家の魚応援の店」での高知フェアの開催 全国350店舗の「応援の店」での高知フェアでのメニュー提供や情報発信を実施(再掲)	※水産業振興課 地産外商社	県内参画事業者の情報収集	フェア参加店舗の募集、フェアメニューの開発・決定	高知フェア(全国350店舗)の開催(9~2月)		フェアであゆを提供する飲食店数 1店舗 ↓ 1 ↓ 3店舗
					(実績)	・参画事業者の情報収集(8/29)						
			◎複数河川のあゆ食べ比べセットの商品化及び個人向け販売	4	あゆ食べ比べ商品の開発 あゆの認知度向上や取引拡大につなげるため、食べ比べセット等の商品化に取り組む	※協議会	作業部会における前年度の取り組みの検証と取り組みの再検討など				(今後設定)	
					(実績)	・流通販売部会の開催(7/24)						
			◎県や地産外商社が主催・出展する商談会への参加による販路の確保及び拡大	5	商談会への参加 県や地産外商社が主催する商談会への参加	※四万十町	町地産外商室の行う県外での営業活動であゆの取扱量を増やしていく(再掲)				商談会への参加 7回 ↓ 5回 ↓ 1回以上	
		(実績) ・商談会への参加(4/24、5/24) ・漁協を通じた、町内の事業者におけるアユ取扱量 7.8kg()	・商談会への参加(6/20,7/20) ・漁協を通じた、町内の事業者におけるアユ取扱量 12.0kg(7~8月)									
		商談会への参加による販路開拓・販売拡大 高知県(地産地消・外商課)、高知県地産外商公社主催の商談会に参加して、販路開拓や販売拡大につなげる <令和4年度> ○土佐の宴(大阪市):9月27日 ○県産品商談会(高知市):10月26日 ○土佐の宴(名古屋市):11月1日	※地産地消・外商課 あゆ関連事業者 水産業振興課 地産外商社	出展者募集(約2か月前から)	○9月27日:土佐の宴(大阪)	○10月26日:県産品商談会(高知)	○11月1日:土佐の宴(名古屋)	商談会開催回数 3回 ↓ 3回(予定) ↓ 3回				
		(実績)	・土佐の宴(大阪)の出展者募集開始(7月) ・県産品商談会(高知)の出展者募集開始(8月)									
◇地域商社等と連携した加工品の開発や外商活動	7	豊洲市場への活あゆ出荷 豊洲市場への活アユ等の出荷を継続(再掲)	※四万十市 四万十川西部漁協 道の駅よって西土佐	豊洲市場への活アユ等出荷				豊洲市場へのあゆ出荷量 130.7kg ↓ 307.7kg ↓ R4同程度の量を出荷				
		(実績)	・豊洲市場に活あゆ等を173.5kg直送(6月)	・豊洲市場に活あゆ等を134.2kg直送(7月)								
		県外での販売促進 ・地域商社と連携したあゆの販売促進活動の実施(再掲)	※四万十町	町地産外商室の行う県外での営業活動であゆの取扱量を増やしていく(再掲)				地域商社と連携した商談による成約件数 0件 ↓ 未集計 ↓ 1件以上				
		(実績)	・商談会への参加(4/24、5/24) ・漁協を通じた、町内の事業者におけるアユ取扱量 7.8kg(~6月)	・商談会への参加(6/20,7/20) ・漁協を通じた、町内の事業者におけるアユ取扱量 12.0kg(7~8月)								

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱2 高知のあゆで外貨を稼ぐ仕組みづくり)

柱No	ビジョンの柱	取り組み項目	取り組み方針	具体的な取り組み ◎優先的に取り組む項目 ◇長期的に取り組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	令和5年度				現状値(R4) ↓ 実績値(R5.9末時点) ↓ (R5:目標値)						
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期							
2	高知のあゆで外貨を稼ぐ仕組みづくり	加工・流通販売	③消費者と直接つながる販売チャネルの創出及び長期的なファンづくり	◎県版ふるさと納税での月替わり、川替わりでのあゆの提供	9	県版ふるさと納税でのあゆの提供 河川(エリア)毎の流通事業者と協議し、集荷・配送体制に係る調整を実施	※水産業振興課 政策企画課 市町村 漁協	政策企画課との調整	県版ふるさと納税でのあゆの提供(6月~10月)	次年度に向けた事業者との協議			県版ふるさと納税でのあゆの提供(14件) ↓ 0件 ↓ 県版ふるさと納税でのあゆの提供(15件)					
								事業者との協議										
								(実績)	・9月から、年度末にかけて提供予定									
								10	◎流域市町村におけるふるさと納税返礼品への利用拡大	ふるさと納税でのあゆの提供 ふるさと納税の返礼品に地元で獲れたあゆを出品	※奈半利川淡水漁協	あゆの確保に向けた生け簀の整備	ふるさと納税での提供の開始(北川村、奈半利町:6月から開始)	次年度に向けた、集荷体制等の検討				ふるさと納税でのあゆの 出荷尾数 350尾 ↓ 523尾 ↓ 350尾
												ふるさと納税への提供に向けた協議						
												(実績) ・北川村、奈半利町のふるさと納税へあゆの提供開始。	・8月末時点で、北川村へ350尾、奈半利町へ173尾 ・他、個人へ175尾、ネット販売で65尾を販売					
								11	ふるさと納税でのあゆ加工品の出品	道の駅と連携してアユ加工新商品の開発を行うとともに、ふるさと納税返礼品としての出品を継続	※四万十市 四万十川西部漁協	アユ加工品の開発、ふるさと納税返礼品への出品						新商品の開発件数 1件 ↓ 0件 ↓ 1件
(実績) ・天然鮎、天然鮎の塩焼き、天然鮎のコンフィ缶、あゆパエリア、天然鮎の風干し(干物)などをふるさと納税に出品 ・新商品については、開発中	・4~8月までの、ふるさと納税あゆ関連商品返礼数:200件																	
12	ふるさと納税でのあゆの提供 ふるさと納税の返礼品に地元で獲れたあゆを出品	※馬路村	出品時期・数量について協議	出品準備	あゆを返礼品として提供(漁獲状況により提供期間を決定する)						ふるさと納税寄付件数・ 金額 17件・17万円 ↓ 15件・15万円(予定) ↓ 20件・20万円							
			(実績) ・あゆ出品事業所と発送、数量等の確認 ・昨年度に引き続きふるさと納税返礼品としてあゆを出品 ・第1四半期件数:5件	・引き続きあゆ出品 ・第2四半期件数:8件(8/31時点)														
13	ふるさと納税でのあゆの提供 ふるさと納税の返礼品に地元で獲れたあゆを出品	※仁淀川町	ふるさと納税でのあゆの取扱量を増加させるためのPR等の検討						ふるさと納税寄付件数 126件 ↓ 55件 ↓ 150件(119%)									
			(実績)	・ふるさと納税申込件数:55件(8月末時点)														
14	ふるさと納税でのあゆの提供 ふるさと納税の返礼品に地元で獲れたあゆを出品	※四万十町	ふるさと納税でのあゆの取扱量を増加させるためのPR等の検討						ふるさと納税寄付件数 (あゆ・あゆ加工品) 437件 ↓ 未集計 ↓ 467件									
			(実績) ・令和5年度のふるさと納税返礼品として、四万十川産あゆ及びその加工品の取扱を開始															
15	◎あゆに関する情報の定期的な発信やシンポジウムの開催(再掲)	SNSやHPを活用した定期的な情報発信 村のInstagram、ホームページを活用し、あゆに関する情報を定期的に発信する。(再掲)	※馬路村	漁期前の川の状況を発信	あゆ漁の風景を撮影(写真・動画)	あゆに関する情報(料理、レストラン、漁期等)を						Instagramを活用したあゆに関する情報発信数 3回 ↓ 6回(予定) ↓ 10回以上						
				(実績) ・馬路村観光HPにて「安田川定点画像」を毎日発信 ・村担当課InstagramやFacebookで情報発信(インスタ投稿:5/31)	・馬路村観光HPにて「安田川定点画像」を毎日発信 ・村担当課InstagramやFacebookで情報発信(インスタ投稿:7/7、7/27、8/3)													

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱3 高知の川遊びの文化を維持する仕組みづくり)

柱No	ビジョンの柱	取り組み項目	取り組み方針	具体的な取り組み ◎優先的に取り組む項目 ◇長期的に取り組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	令和5年度				現状値(R4) ↓ 実績値(R5.9末時点) ↓ (R5:目標値)				
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期					
3	高知の川遊びの文化を維持する仕組みづくり	体験・教育	①子どもたちが川に親しむ学習などの実施	◎学校、地域、漁協、行政の連携による漁業体験及び環境学習の実施	1	関係人口の創出と情報発信 鏡川流域関係人口創出・拡大業務において、鏡川流域関係人口講座を開催し、鏡川流域の自然を生かした多様な関わり方を実行できる人材を育成するとともに、受講生のコミュニティを構築する。学校、地域、漁協、行政と連携して講座を実施するとともに、受講生自身に鏡川流域への関わり方を考えてもらうことで、あゆの河川資源等に親しむ機会を創出する。(再掲)	※高知市	契約準備、契約 (4月～6月)	事業告知、受講生募集等(7月)	第1回～4回講座 (7月～2月)	業務報告等 (3月)	関係人口(鏡川流域の自然資本を含む地域資源に人が関わる回数) 2,103回 ↓ 1,700回 ↓ 4,000回				
							(実績) ・プロポーザル審査会を開催し、委託事業を選定(6/16) ・委託契約の締結(6/30)	・講座の概要、講師、スケジュール等について委託業者と協議(7～8月) ・講座内容の決定、告知の実施(8月) ・講座の開催(9月)								
							2	漁業体験及び環境学習の実施 ・市内小学校が実施する環境学習に講師(四万十川財団)を派遣し、環境学習を支援 ・市内小・中学生とその保護者を対象に、四万十川中央漁業協同組合協力のもと、あゆのつかみ取り・投網漁体験を実施	※四万十市 四万十川財団 四万十川中央漁協 四万十川西部漁協	環境学習支援事業					親子川漁体験	親子体験教室の開催 ↓ 1回 ↓ 1回以上開催
									(実績) ・稚アユ放流体験(5/1、5/10、5/18) ・環境学習への講師派遣(随時)	・しゃくり漁体験(7/11) ・投網漁体験(7/13) ・親子川漁体験(7/29) →子供44名、大人36名参加 ・つかみ取り体験(9/6) ・環境学習への講師派遣(随時)						
							3	環境学習の実施 ・土佐山学舎の4年生を対象とした、鏡川に関する環境学習を年4回実施。	※高知市 土佐山学舎	環境学習の実施(9月中にアユの友釣り漁、しゃくり漁を体験)						環境学習の実施 毎年4年生を対象に実施 ↓ 4年生を対象に4回実施 ↓ 4年生を対象に実施
(実績) ・鏡川に関する座学の実施(5/1・9) ・鏡川上流域での生き物探し及び観察会の実施(5/23)	・鏡川上流域で川釣り体験を実施(7/18)															
4	地域学習への川漁や環境学習の導入 協働の川づくり事業による中学生の地域学習への川漁や環境学習の導入(四万十川財団)	※四万十町 四万十川財団 地域住民	水生生物調査や環境学習を通じた川との関わりへの協力						環境学習の実施 要望のある全ての学校で実施 ↓ 1校 ↓ 要望のある全ての学校で実施							
		四万十川支流での通年での水生生物の生息状況調査														
(実績) ・水生生物調査等の実施(四万十町内5回 9月末) ・十川中学校(6/6実施)	・十川中学校(7/13、9/1、9/8、9/16実施)															
5	環境学習会の実施 学校と連携し、環境学習会を実施(物部川、仁淀川、四万十川流域)	※自然共生課 舟入小学校 越知小学校 越知中学校 衛生環境研究所 中村高校西土佐分校 (公財)四万十川財団	実施内容協議 → 実施						実施校数 5校 ↓ 4校 ↓ 5校以上							
		実施内容協議 → 実施														
(実績) ・越知小学校(6/15実施)	・越知中学校(9/27実施) ・楠目小学校(9/13、9/29実施) ・中村高校西土佐分校(9/15実施)															

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱3 高知の川遊びの文化を維持する仕組みづくり)

柱No	ビジョンの柱	取り組み項目	取り組み方針	具体的な取り組み ◎優先的に取り組む項目 ◇長期的に取り組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	令和5年度				現状値(R4) ↓ 実績値(R5.9末時点) ↓ (R5:目標値)					
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期						
3	高知の川遊びの文化を維持する仕組みづくり	体験・教育	①子どもたちが川に親しむ学習などの実施	◎学校、地域、漁協、行政の連携による漁業体験及び環境学習の実施	6	【新規】地域学習へのあゆ釣り体験や種苗の放流体験の導入 あゆの友釣りや種苗放流等を通じた地域学習	※仁淀川町 仁淀川漁協 仁淀川の“緑と清流”を再生する会 仁淀川アウトドアセンター	仁淀川町池川地区内の保育園の園児によるあゆの放流体験	池川中学校の生徒によるあゆの友釣りとSUP			年1回実施 33名参加 ↓ 年2回実施 46名参加 ↓ (年2回実施) 50名参加					
								(実績) ・大崎保育園の園児12名がアユの放流を体験(5/22)	・池川中学校の生徒34名によるアユの友釣りとSUPを体験(7/13)								
								◎あゆ人工種苗放流体験等の実施	7	あゆ種苗放流体験の実施 あゆ種苗放流の一部を村内保育所の児童による放流体験とする。	※馬路村 馬路保育所 安田川漁協		放流の方法、安全管理の協議	放流体験の実施			体験回数 1回 ↓ 1回 ↓ 1回
													(実績) ・関係団体と放流体験日程の調整	・安田川漁協の指導のもと、馬路・魚梁瀬保育所園児あゆ放流体験を実施(7/11)			
													8	あゆ放流体験の実施 あゆ放流の一部を村内小学校の児童による放流体験として実施。	※三原村 三原村商工会 三原小学校	放流時期等の	
								(実績) ・放流時期、実施場所、放流量、体験対象者の協議(4月) ・村内河川5か所、小学校2・3・4年生を対象に稚鮎42kgの放流の実施(5月25日)									
								9	あゆのつかみ取りの実施 幼稚園児等を対象としたあゆのつかみ取りの実施(再掲)	※奈半利川淡水漁協	幼稚園単位での開催に向けた調整		あゆのつかみ取り体験の開催			参加児童数 2回180名 ↓ 3回242名 ↓ 3回200名	
											(実績) ・漁協傍の河原でつかみ取り開催(7/30: 田野町、奈半利町、北川村の小中学生130名) ・奈半利幼稚園でつかみ取り開催(8/4: 42名) ・田野幼稚園でつかみ取り開催(8/21: 70名)						
								②大人の学習・体験機会の創出	◇あゆや河川資源を題材とした文化教育イベント(俳句・絵画・写真・書道展、環境学習展)の開催	10	関係人口の創出と情報発信 鏡川流域関係人口創出・拡大業務において、鏡川流域関係人口講座を開催し、鏡川流域の自然を生かした多様な関わり方を実行できる人材を育成するとともに、受講生のコミュニティを構築する。学校、地域、漁協、行政と連携して講座を実施するとともに、受講生自身に鏡川流域への関わり方を考えてもらうことで、あゆの河川資源等に親しむ機会を創出する。(再掲)		※高知市	契約準備、契約	事業告知、受講	第1回～4回講座	業務報告等
		(実績) ・プロポーザル審査会を開催し、委託事業を選定(6/16) ・委託契約の締結(6/30)	・講座の概要、講師、スケジュール等について委託業者と協議(7～8月) ・講座内容の決定、告知の実施(8月) ・講座の開催(9月)														
		11	◎漁協や企業と連携した産卵場造成体験、産卵見学会、遡上観察会等の実施とあゆオーナー制度の導入	あゆオーナー制度の実施 四万十川上流淡水漁業協同組合	※四万十町 四万十川上流淡水漁業協同組合	あゆオーナーの募集	オーナーへのあゆの提供							オーナー制度参加者数 16人 ↓ 22人 ↓ 50人			
(実績) ・オーナー募集 22口応募	・オーナーへのあゆの提供開始(7月以降)																

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱4 高知のあゆを持続的に活用するための仕組みづくり)

柱No	ビジョンの柱	取り組み項目	取り組み方針	具体的な取り組み ◎優先的に取り組む項目 ◇長期的に取り組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	令和5年度				現状値(R4) ↓ 実績値(R5.9末時点) ↓ (R5:目標値)			
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期				
4	高知のあゆを持続的に活用するための仕組みづくり	資源回復・保全	①あゆ資源の持続的活用に向けた資源回復・保全策の実施	◎流域全体の総意に基づく資源回復策の実施に向けた関係者間の協議	1	官民一体となって河川資源回復の取り組みを実施 四万十川漁業振興協議会が中心となり、行政、学識経験者等の協力を得て、河川環境改善、資源回復に向けて取り組む	※四万十市 四万十川漁業振興協議会	高知県へ要望書の提出	資源回復に向けた取り組みの検討			取り組みの検討 ↓ 取り組みの検討 ↓ 取り組みの方向性の決定			
								(実績) ・伏流水の確保による河川環境改善を目的とした河床掘削(4月~)	・四万十川漁業振興協議会総会(8/31) ・県へ要望書提出(9月以降で調整中)						
								2	基礎調査の実施と関係者による協議 資源回復のための基礎調査の実施と情報共有、漁業振興協議会での流域内漁協と行政での意見交換	※四万十町 委託事業者 四万十川東部漁業協同組合 四万十川上流淡水漁業協同組合	中期的な資源調査の実施と、調査結果に基づく回復策についての提案・協議の場の設定				協議会の開催 1回 ↓ 1回 ↓ 1回
											(実績) ・基礎調査の委託契約締結(4/1)	・四万十川漁業振興協議会総会の開催(8/31)			
								3	資源調査・種苗生産用の親魚養成の実施 各河川の流下期及び遡上期の資源状況調査を行い、県内各漁協と情報共有・発信を行う。また、遺伝的多様性の高い県産人工種苗「土佐のあゆ」を生産・放流するための親魚候補の確保と育成を行う。	※内水面漁業センター 漁協 水産振興課	県内各河川での遡上量調査(4-5月)			県内各河川での遡上量調査(2~4月) ↓ 親魚養成用天然稚魚の確保(3月)	各調査及び親魚養成の実施 毎年実施 ↓ 実施中 ↓ 毎年実施
放流用種苗親魚養成(3月~10月) ※親魚養成用天然種苗の確保(2-3月に実施)			県内各河川での流下仔魚調査(10月~1月)												
(実績)	遡上調査:2月上旬から5月中旬までに、12河川で合計66回(1河川平均5.5回)実施した。 親魚養成:2月下旬から3月上旬に、県下2河川で採捕した天然種苗を約4,000尾養成中。														
4	産卵場整備 環境・生態系保全対策事業費交付金を「鏡川環境保全の会」に交付し、産卵場整備の実施状況等の確認等を行う。	※高知市 高知県 鏡川漁業協同組合	計画承認(4月)	交付決定(5月)		体験学習会(実施状況確認)(9月)	堆積土砂整備、河床の攪拌による瀬と淵の効果の検証(実施状況確認)(10月)	実績報告等(2月~3月)	整備面積 5,595㎡ ↓ 実績見込不明 ↓ 5,595㎡(現状維持)						
			(実績) ・高知市環境・生態系保全対策事業費交付金の計画承認(4/8) ・同交付金の交付決定(5/9) ・同交付金の第1回概算払い(6/9)	・体験学習会の実施確認(8/26)											
5	ドローンを活用したカワウ対策の実証試験の実施 カワウ対策の実証試験の実施	※四万十町 委託事業者 四万十川東部漁業協同組合 四万十川上流淡水漁業協同組合	カワウ追払いの実施				カワウ駆除数 55羽 ↓ ↓ 46羽以上								
			(実績)	・カワウ対策委託契約の締結(8/1)											

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱4 高知のあゆを持続的に活用するための仕組みづくり)

柱No	ビジョンの柱	取り組み項目	取り組み方針	具体的な取り組み ◎優先的に取り組む項目 ◇長期的に取り組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	令和5年度				現状値(R4) ↓ 実績値(R5.9末時点) ↓ (R5:目標値)	
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		
4	高知のあゆを持続的に活用するための仕組みづくり	資源回復・保全	①あゆ資源の持続的活用に向けた資源回復・保全策の実施	◎漁協や企業と連携した産卵場造成体験、産卵見学会、遡上観察会等の実施とあゆオーナー制度の導入(再掲)	6	あゆオーナー制度の実施 四万十川上流淡水漁協によるあゆオーナー制度の実施(再掲)	※四万十町 四万十川上流淡水漁業協同組合	あゆオーナーの募集				オーナー制度参加者数 16人 ↓ 22人 ↓ 50人	
								オーナーへのあゆの提供					
								(実績) ・オーナー募集 22口応募	・オーナーへのあゆの提供開始(7月以降)				
7			◎あゆ人工種苗生産事業の安定的な継続に向けた関係団体(漁協、市町村、県等)による支援	◎あゆ人工種苗生産事業の安定的な継続に向けた関係団体(漁協、市町村、県等)による支援	7	あゆ人工種苗放流の継続に向けた関係団体との協議 あゆ人工種苗放流量の増加に向けて関係団体との協議を実施	※水産業振興課 内水面漁業協同組合連合会 漁協 市町村	種苗生産の現状を整理				市町村等によるあゆ種苗放流量 33.2トン ↓ 33.6トン ↓ 34.0トン	
								関係団体への説明					
								(実績) ・県内各河川へ種苗放流(3月下旬~5月中) ・全放流量:33.6トン ・関係団体との県産あゆ人工種苗に関する意見交換(毎月実施)	要望調査等の実施				
8			◇河川ごとの課題の整理に向けた調査研究の実施とそれに基づく資源回復アクションプランの策定	◇河川ごとの課題の整理に向けた調査研究の実施とそれに基づく資源回復アクションプランの策定	8	あゆ資源回復に向けた検討 鏡川清流保全環境調査委託業務により、鏡川におけるあゆの遡上状況及び産卵場の調査を行い、あゆ資源回復に向けた対策を検討	※高知市 鏡川漁業協同組合	入札、契約(4月)				天然あゆ遡上数 約9.4万尾 ↓ 19.2万尾 ↓ 50万尾	
								あゆの遡上状況調査(5月)					
								(実績) ・入札により委託業者を決定(4/27) ・委託契約の締結(4/27) ・アユ遡上調査の実施(5/17・18)	あゆの産卵場調査(11月)				
								中間報告(6月)		中間報告(12月)		最終報告等(2月~3月)	